

2019年度 通信制高等学校第三者評価

評 価 報 告 書

学校法人創志学園

[クラーク記念国際高等学校]

[通信制課程]

2019年12月25日

通信制高等学校評価研究会

提出された各種資料及び2019年10月9日、10月24日に実施した現地調査の結果、貴校通信制の課程の評価は次の通りとなりました。

学校概要

クラーク記念国際高等学校（以下、当該高等学校という）は、1992年2月に北海道知事より設置について認可され北海道深川市納内町に広域通信制高等学校として、同年4月に開校した。

1998年4月には、通信制課程（学年制）に加えて、新たに単位制による通信制の課程を開設（北海道知事認可）した。設置者は学校法人創志学園である。

設置学科は国際学科、情報科学科、普通科だが、現在は普通科が中心となっており、2018年5月1日現在、11,110人の生徒が在籍し、教職員は905人である。

教育目標は

「一人一人を大切にし、社会の有為な形成者として資質を養うための教育」であり、指導の重点として

- ①自らを啓発し、目的に向かってやり遂げる生徒
- ②思いやりがあり、豊かな心を持つ生徒
- ③正しく判断し、責任を持って行動する生徒
- ④心身ともに健康で、逞しさを持つ生徒、を挙げている。

当該高等学校は、中学校新卒者が多くを占めているということから、いち早く全日型通学を主軸とした教育を取り入れ、その特徴が主因となって中学生及びその保護者から支持を得ていると判断できるまた、様々な教育的ニーズのある生徒への対応についても通学日数選択型や在宅型のコースを設置し成果を上げている。

教職員に対して、「学習心理支援カウンセラー」の資格を取得させるなど、きめ細かな生徒支援を実現させるための研修体制が整備されている。さらに、担任を生徒自身が選ぶパーソナルティーチャー制度やピアアシスタント制度などの工夫に加え、国際系など多様なコース・専攻を開設して生徒のニーズに合った教育活動を行い、生徒の才能を伸ばす様々な教育活動を展開している。

なお、当該高等学校は、本校が所在する同市に、本校舎（納内町）の他、体育館（1582㎡、バレーボールコート4面程度）に加え、約200名収容できる宿泊・研修施設（音江町）を有し、生徒は、夏は自然体験や農業体験等、冬は近隣のスキー場でスキーやスノーラフティング等、様々な体験学習を行っている。また、施設に隣接する農場（4ha）も有し、様々な作物の栽培をはじめとする農業体験を行っており、施設の職員が収穫した野菜を加工して、食材として生徒たちに還元している。

総合評価

適

学校運営に関しては、教育活動を行うに当たり十分な教職員が配置されており、教員の免許状の管理も適切に行われている。教職員の研修に積極的であるとともに連携施設との関係も、運営要領に基づいた指導体制は高く評価できる。

学校評価、情報公開については、自己評価や生徒・保護者への各種アンケートを実施し、ホームページを通して、広く公表している。生徒募集は校長の責任において適確に実施されており、学校施設・設備、表簿等の管理もしっかりとなされている。

教育課程に関しては、法令等に即した内容となっており、添削指導・面接指導・試験・特別活動も年間指導計画のもと、独創性のある教育がなされている。

生徒支援についても独自のWEBキャンパスを作製し、学習支援・生活支援・進路支援も充実していること、また、今年度より独自に電子図書館「L i b r a r i E」を開設し、教育環境の充実に努めていることは高く評価できる。

今後は、生徒・保護者への各種アンケートを踏まえた改善を進めるとともに、生徒一人一人が自身の夢にチャレンジするための最適な学びの場であるという通信制高校のメリットを生かした、生徒の個性をより深化させる教育活動を更に充実させることにより、一層建学の精神を具現化させることができると考える。